

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (4/8)	458床 ↗	19床 ↗	898人 ↗	3.2% ↗	461人/週 (8.7人) ↗	1.05 ↗	38.6% ↗
うち札幌市内	251床 →	19床 ↗	617人 ↗	3.7% ↗	303人/週 (15.5人) →	1.00 →	45.5% ↗
ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

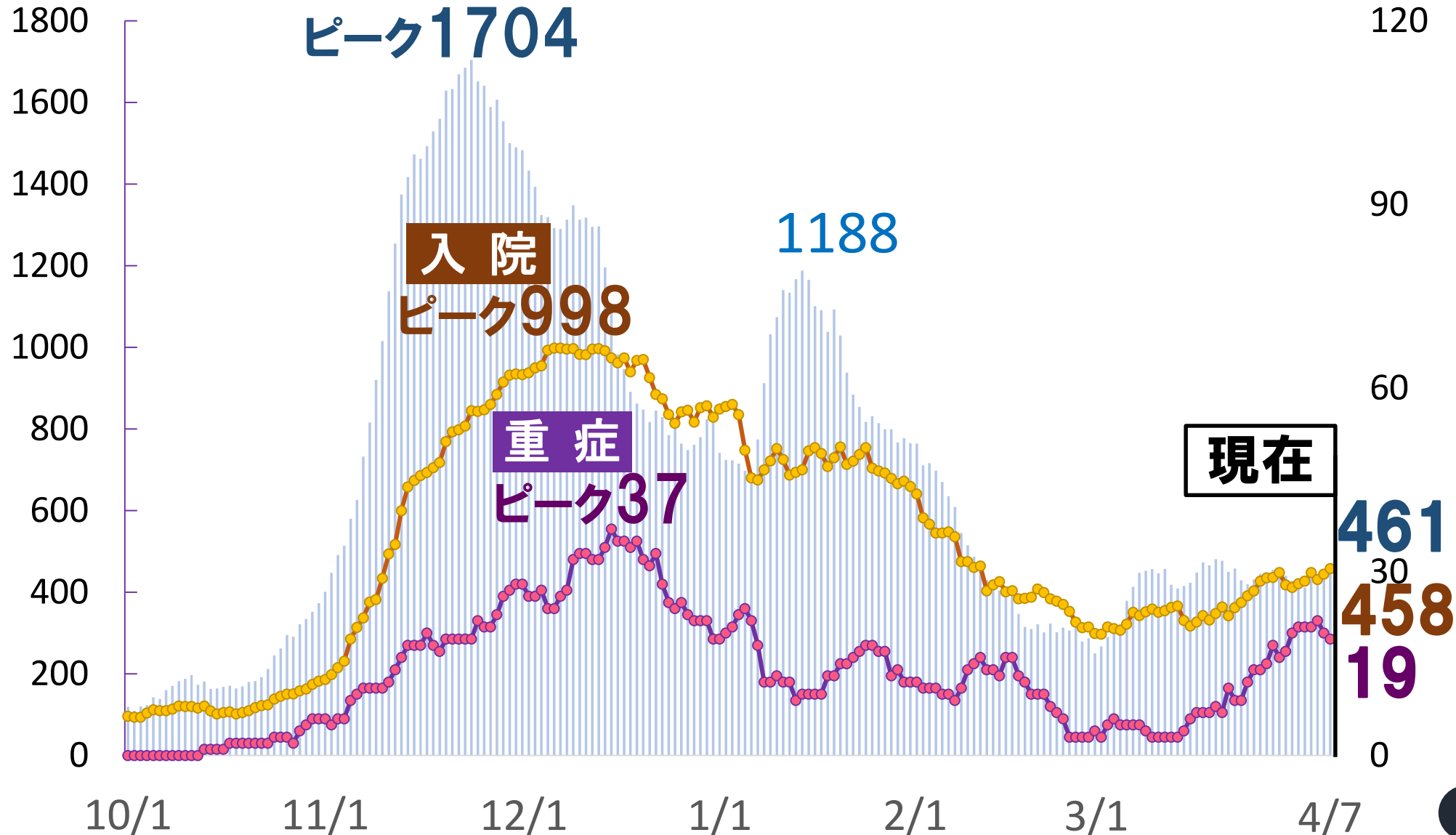
※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

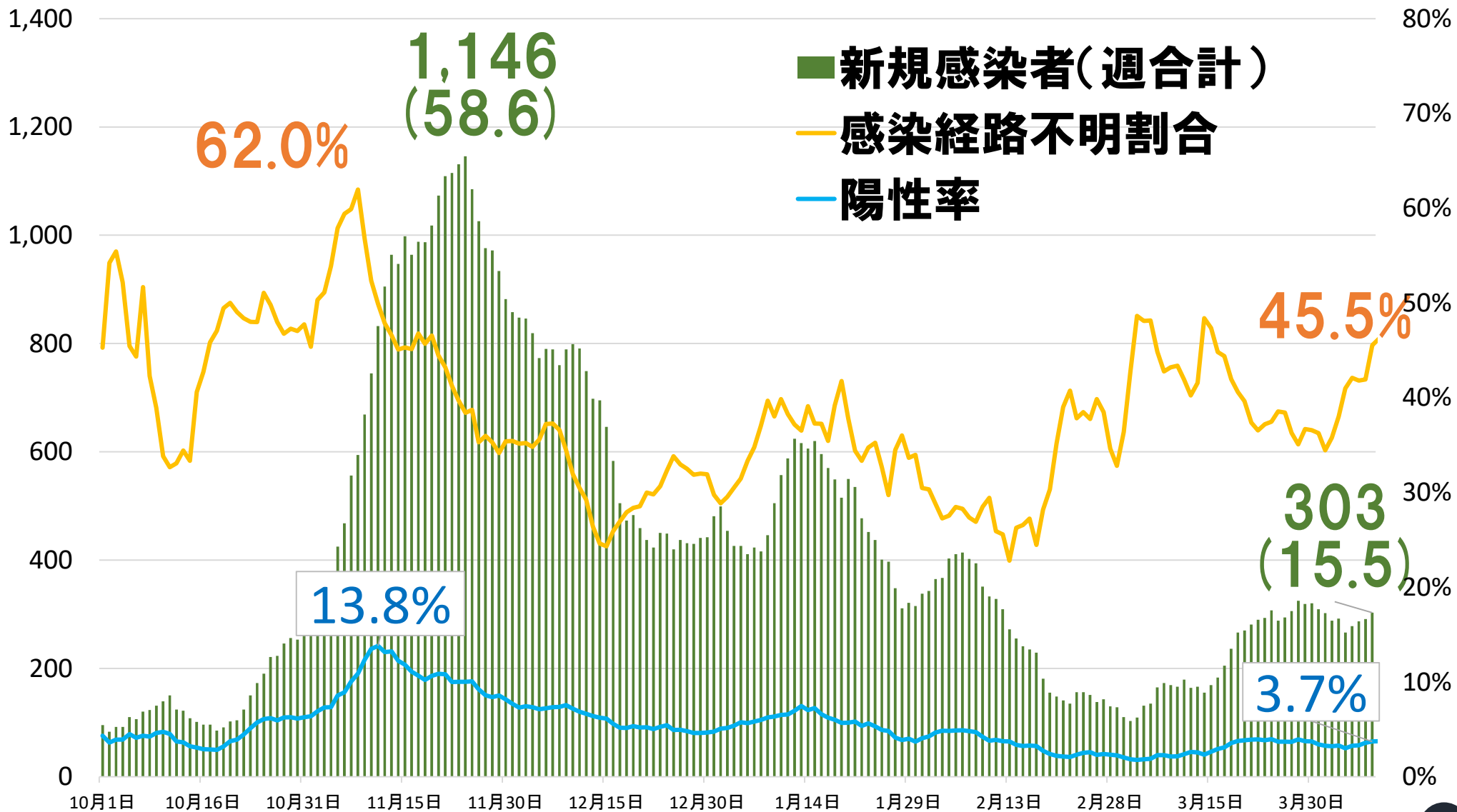
感染者数と入院患者数

新規感染者数(7日間合計)
入院患者数(人)

重症患者数(人)



札幌市の感染状況

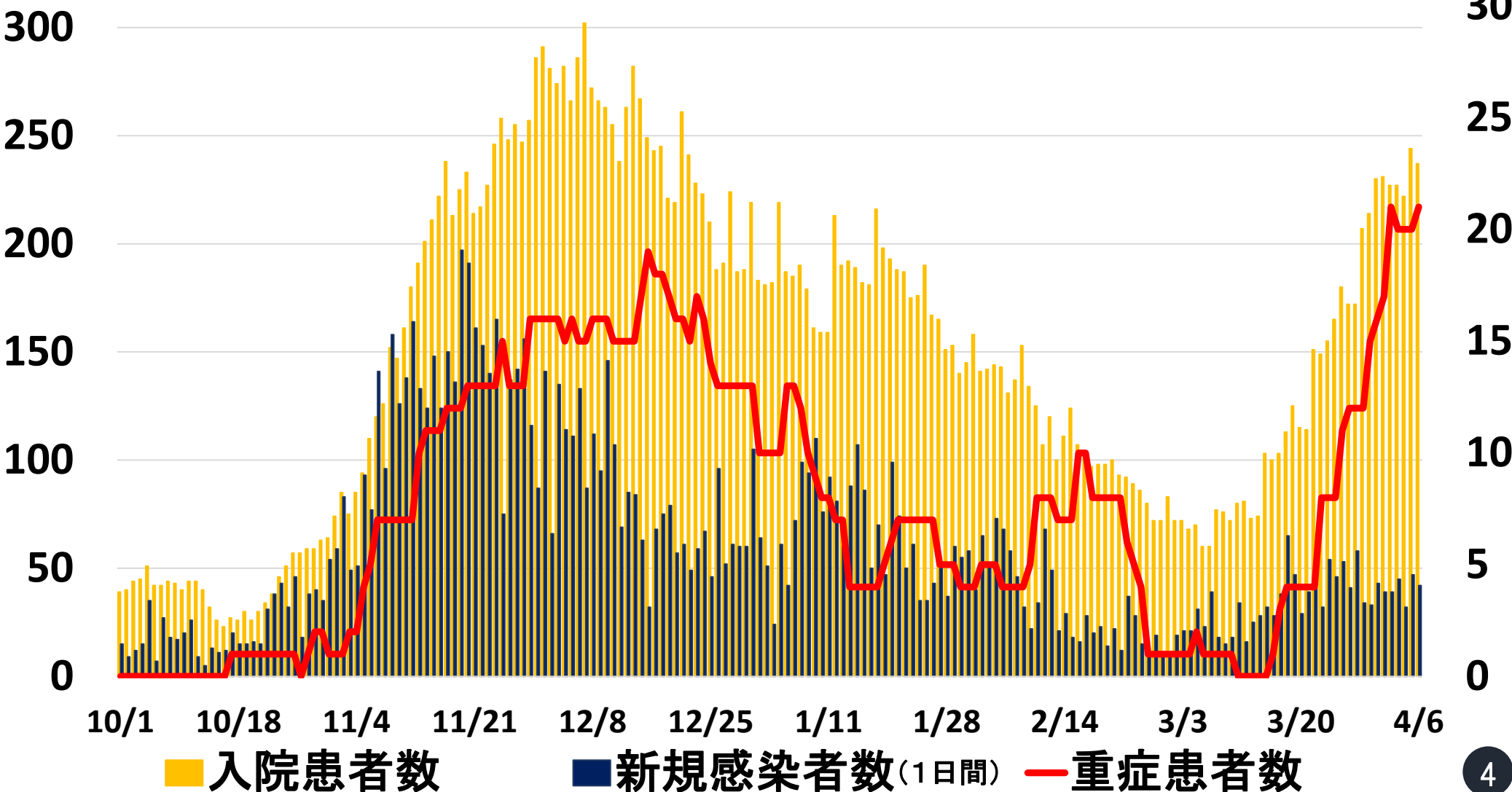


札幌市民の感染者数・ 入院患者数・重症患者数の推移

(出典:札幌市提供)

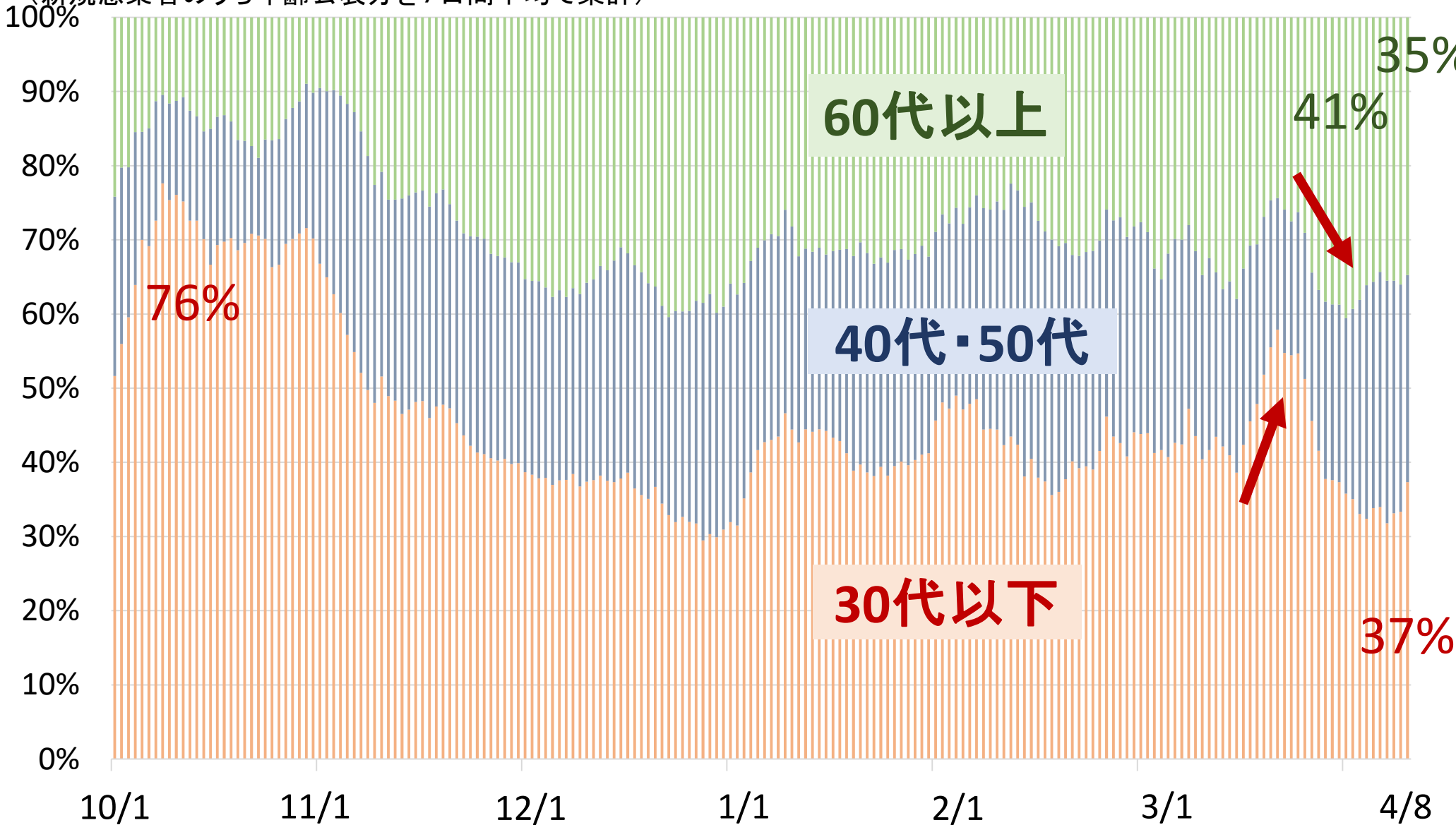
(新規感染者・入院患者数)

(重症患者数)



新規感染者の年代別割合

(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)



高齢者の感染が多く発生

医療提供体制への
負荷が増加

集団感染 事例

高齢者を中心とした 飲食店での会合

▶ **感染者 8人**（利用者）

飲食や**カラオケ**をする中で

- **マスク着用が不徹底**
- **マイクの消毒**や**換気**が**不十分**

集団感染 事例

接客を伴う**物販**など
高齢者等が**集まる**場面

- 人との**距離**が**近い**
- **換気**が**不十分**

	新規 感染者数	変異株 PCR 検査数	変異株 PCR検査 実施率	変異株 疑い 事例	変異株 PCR検査 陽性率
① 3/1 ~3/7	379	34	9%	13	38%
② 3/8 ~3/14	418	137	33%	11	8%
③ 3/15 ~3/21	481	392	81%	90	23%
④ 3/22 ~3/28	445	399	90%	142	36%
⑤ 3/29 ~4/4	411	357	87%	151	42%

※厚生労働省資料等を基に北海道作成

※変異株については、新規陽性確認後に別途、変異株のスクリーニング検査を行うことから、各期間(①~⑤)における新規感染者数の内数とならない。

変異株 スクリーニング検査

【3/22~28 速報値】

※厚生労働省資料を基に北海道作成

	都道府県	変異株PCR 検査実施件数	【参考】変異株 PCR検査陽性件数 (疑い事例数)	【参考】新規 感染者数
1	東京都	556	18	2457
2	北海道	399	142	445
3	大阪府	333	180	1799
4	兵庫県	280	203	698
5	千葉県	245	16	701
6	宮城県	216	0	911
7	福岡県	172	2	192
8	神奈川県	169	13	660
9	茨城県	153	4	253
10	埼玉県	102	7	803

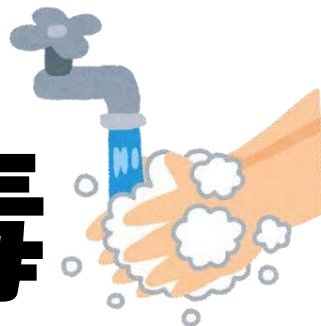
国立感染症研究所による分析

従来株よりも
感染しやすい可能性

変異株の実効再生産数は、平均で従来株の1.32倍

基本行動の徹底を

手洗い
手指消毒



咳エチケット

マスク着用

人との
距離を取る

まん延防止等重点措置

宮城県、大阪府、兵庫県

※東京都、京都府、沖縄県

▶ 不要不急の往来を控える

※東京都、京都府、沖縄県は、対策本部で決定した場合

4/16まで

感染リスクを回避できない場合

- ▶ **札幌市内**においては、**不要不急の外出**を控える
- ▶ **札幌市との不要不急の往来**を控える

感染拡大の予兆の探知

- ▶ **変異株の検査体制**の更なる整備
- ▶ **感染拡大地域**で、**感染が発生**していない**高齢者施設**等への**検査**
- ▶ **国のモニタリング検査**の活用

道独自のPCR検査

**無症状の旅行者や出張者
を対象に試行実施**

4月中旬から1か月間、札幌駅(予定)で
合計**700**の検査キット配布

▶ **検査の手法や効果などを検証**

新型コロナワクチンの相談先

接種の医療機関や
日程等の一般相談

お住まい
の市町村

薬剤師による
医学的な専門相談

北海道
▶ 4/10開設